

郡山市総合戦略 評価・検証の実施について

1. 評価の概要

本市では「人口減少・地域経済縮小克服」及び「復興力の維持・強化」を目指して、2015年度に策定した「郡山市総合戦略」(計画期間：2015～2019)の取組みの評価・検証を踏まえ、**2020年度に「郡山市総合戦略(2020改訂版)」(計画期間：2020～2024)へと見直しを行いました。**

この「郡山市総合戦略(2020改訂版)」における各施策について、PDCAサイクルによる検証を行い、事業見直し等の改善につなげていくため、このたび、2020(令和2)年度及び2021(令和3)年度の実績について評価を行いました。

2. 評価の手法

- ・KPIの現状値及び傾向の把握、総合的な取組みについての定性評価を実施。

◇KPIの傾向について

KPIについては、2024(令和6)年度の目標値達成に向けて、2021(令和3)年度の実績値がどのような傾向にあるかを、策定前実績値である2019(令和元)年度の値と比較し、総合的に判断しています。

KPI	傾向	基準
	↗	目標値達成に向けて、向上しているもの
→	目標値達成に向けて、横ばいであるもの	
↘	目標値達成に向けて、低下しているもの	

3. 市民、外部有識者の意見

これまでの経過

○2021年10月1日(金)～10日(日)

「まちづくりネットモニター」にて、本市の地方創生の取組みに対する市民の進捗実感について、意見をいただきました。

今後の予定

○2022年2月3日(木)【本日】

「郡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者懇談会」にて、各分野の方からご意見をいただきます。

○2022年2月下旬

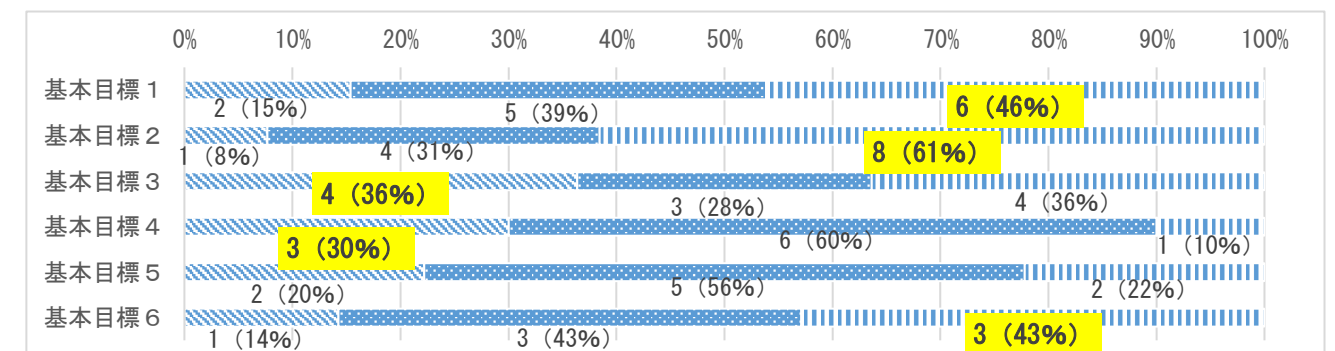
懇談会開催結果(意見要旨及び本市対応)を本市ウェブサイト公開します。

4. 各基本目標に定めるKPIの達成状況

①全体概況

基本目標		1	2	3	4	5	6	計	達成率
		DXに対応した生産性の向上と魅力ある雇用環境の創出	地域の魅力発信と「関係人口」の創出	切れ目無い子育て支援と女性・子育て世代の活躍推進	住民・企業が集う気候変動対応型まちづくりの推進	あらゆる世代が居場所と役割を持ち生きいきと暮らせるまちづくり	教育の質の向上と誰もが楽しく学べる環境づくり		
基本目標の数値目標 (各基本目標に係るKPI)	↗	0	0	0	0	1	0	1	8%
	→	1	1	0	2	0	0	4	33%
	↘	2	1	2	0	1	1	7	59%
	計	3	2	2	2	2	1	12	
個別施策の数値目標 (各事業のKPI)	↗	2	1	4	3	1	1	12	24%
	→	4	3	3	4	5	3	22	43%
	↘	4	7	2	1	1	2	17	33%
	計	10	11	9	8	7	6	51	

②基本目標別指標の達成状況



・基本目標1(産業・雇用分野)、基本目標2(観光・交流分野)及び基本目標6(教育・生涯学習分野)において、特に指標の低下傾向が強く見られ、**コロナ禍における企業活動や観光分野、公民館や図書館など公共施設利用の低下が原因**と思われる。

・一方、基本目標3(子育て分野)及び基本目標4(安全安心・公共分野)については、**保育環境への満足度や学力向上の成果、犯罪件数の減少や公共施設管理の民営化など着実な進展**が図られている。

・全体として、**基本目標2において最も低下傾向が顕著(唯一「低下」が過半数越え)**であり、交流人口・関係人口増加に向けた取り組みが必要である。

基本目標1：DXに対応した生産性の向上と魅力ある雇用環境の創出

各基本目標のKPI		説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2020)	実績値 (2021)	目標値 (2024)	傾向
1	小売業商品販売額	商業統計調査及び経済センサスに基づく小売業商品販売数	3,406億円/年 (2012)	4,337億円/年 (2016)	4,337億円/年 (2016)	4,337億円/年 (2016)	3,724億円/年	→
2	製造品出荷額	工業統計調査及び経済センサスに基づく製造品出荷額等	8,411億円/年 (2013)	7,101億円/年 (2018)	6,697億円 (2019)	6,321億円/年 (2020)	7,464億円/年	↓
3	新たな企業立地に伴う新規雇用者数	西部第一工業団地等への企業立地に伴う新規雇用者数	-	325人	276人	322人	500人	↓



SDGsのゴール

＜まちづくりネットモニターでの主な意見＞
 ・郡山市はDXが少しずつ進んでいるので、これからも情報化社会に特化した都市を目指してほしい。
 ・テレワーク等によるさらなる働き方改革によって、都心からの移住等を喚起するような取組みが必要ではないか。
 ・首都圏と比べて、就職先の選択肢が少ないので、企業の誘致をもっと積極的に行う必要がある。等

施策1：「知の結節点」としての優位性を生かした積極的な企業誘致と新たな市場開拓

個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2020)	実績値 (2021)	目標値 (2024)	傾向	
1	創業・起業数	市内において、新たに創業・起業した人の数	54件/年	50件/年 (2018)	41件/年	50件/年	50件/年	→
2	郡山西部第一工業団地等への企業立地件数	郡山西部第一工業団地等への企業立地件数	-	5区画/年	7区画/年	4区画/年	5区画/年	→
3	商談会等による商談件数	こおりやま産業博における商談件数	(2020改訂にあたり新設)	80件/年	-	24件/年	80件/年	→

【KPIに関連する事業の取組み状況、成果、課題等】
 ■ 創業・起業数はコロナ禍であっても横ばい傾向である。商談件数は、2020年にコロナの影響により産業博が中止となったため成果が出せなかったが、2021年以降はオンラインによる商談会を開催することで目標値を目指したい。
 ⇒【課題】オンラインの有効活用、オンラインの参加者増を図っていく必要がある。

【参考】創業支援事業

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向
創業者支援件数(件)	742件	1214件	597件	597件	↗

施策2：多様な学術研究機関と地元企業が連携した地方発イノベーション

個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2020)	実績値 (2021)	目標値 (2024)	傾向	
1	産学官コーディネータ数	研究機関と地元企業等のニーズ・シーズの把握によるマッチング件数	-	23件/年 (2018)	37	10 ※3月末確定	30件/年	↓
2	産学官連携による共同研究に参画した企業数	大学や公設研究機関等と連携し共同研究を実施する企業の件数	-	21件/年 (2018)	5	2 ※3月末確定	25件/年	↓

【KPIに関連する事業の取組み状況、成果、課題等】
 ■ 市内企業と郡山地域の研究機関、エッセン大学等との連携推進事業を実施し、産学官連携による新産業創出を図った。
 ⇒【課題】医工連携のための医療・介護現場でのニーズの抽出から企業とのマッチング販売までの地域エコシステムの構築を図る必要がある。

【参考】産業イノベーション事業

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向
産学官連携による共同研究の件数(件)	24	17	10 ※3月末確定	13	↗

施策3：農林業のICT化と構造改革による成長産業化

個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2020)	実績値 (2021)	目標値 (2024)	傾向	
1	地域と連携して開発した商品数	農商工観連携により創出された商品数(累計)	1件	9件	10件	12件	12件	↗
2	ワイン用ブドウ生産量	「ふくしま達瀬ワイナリー」産地形成のためのワイン用ブドウ生産量	(2020改訂にあたり新設)	18t	21t	31t	50t	↗
3	国内・国外における郡山産米「あさか舞」販売量	郡山産米「あさか舞」の国内外における販売量	1,747t/年	1,760t/年 (2018)	1,471t (国外無し)	1,471t (見込み)	2,000t/年	↓
4	鯉養殖生産量(県南鯉養殖漁業共同組合)	県南鯉養殖漁業共同組合における鯉養殖生産量	550t/年	797t/年 (2018)	812t	640t	800t/年	↓

【KPIに関連する事業の取組み状況、成果、課題等】
 ■ ワイン用ブドウ等の新たな農産物の導入や、本市の歴史に基づく食文化や地域資源である農産物の再構築によるブランド化を進め、付加価値の向上と販売力の向上に努めた。
 ⇒【課題】今期で確立したブランド価値の維持とさらなる向上を図るとともに、生産性の向上を図るためのICT等導入による省力化を推進する必要がある。

【参考】こおりやま園芸産地づくり支援事業

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向
園芸用施設設置面積	831,000	835,000	836,000	850,000	→

施策4：誰もが安心して働くことができる魅力的な就業環境と担い手の確保


個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2020)	実績値 (2021)	目標値 (2024)	傾向	
1	新規高等学校卒業者の県内企業への就職内定率	ハローワーク郡山管内における就職希望の新規高卒者の県内就職内定率	78%	99.6% (2018)	99.3%	集計中	100%	→

【KPIに関連する事業の取組み状況、成果、課題等】
 ■ 新規高等学校卒業者の県内企業への就職内定率は、新型コロナウイルスの影響により若干の低下が見られるが、学校関係者と地元企業の連携により、高い水準を保つことに繋がっている。
 ⇒【課題】新規高等学校卒業者の就職内定率は県内に限らず県外企業への就職内定率も高い水準を保っており、県内就職希望者を増加させるため、さらなる学校関係者と地元企業の連携を強化するとともに、県内企業の情報提供を拡大する必要がある。
 また、就職後に何らかの理由で離職した方や働くことに不安のある方、さらには大学等で県外へ転出された方、高齢者、障がい者、出産等で退職された女性など、誰もが安心して就職・就業継続できるよう、DXを活用した地元企業情報の発信と就労体験の創出、本人の特性に合わせた就職活動支援を拡充していく必要がある。
 ■ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、障がい者就労施設で作製した授産製品の販売会の減少及び作業等の受注減少により、障がい者授産製品の売上が減少した。
 ⇒【課題】コロナ禍においても、障がい者就労施設で障がい者が安心して働くことができるよう、市と障がい者授産支援事業の受託者である郡山市障害者福祉センターが連携し、支援体制を強化していく必要がある。

【参考】障がい者授産事業

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向
障がい者授産製品の売上	10,441	13,488	6,526	10,300	↗

基本目標2：地域の魅力発信と「関係人口」の創出

<p>【各基本目標のKPIの傾向】 ■新型コロナウイルス感染症の影響と考えられる人の流れの減少により、交流人口（観光客入込客数）の落ち込みが見られることから、新しい生活様式に対応した取組みを進めていく必要がある。</p> <p>【各施策の総合評価】 ■指標の低下傾向が見られ、コロナ禍における観光分野の公共施設などの利用の低下が原因と思われる。</p>		<p>SDGsのゴール</p> 			<p><まちづくりネットモニターでの主な意見> ・郡山市の地方創生の取組みをもっと広く、分かりやすくPRするべきである。 ・若者にはデジタル媒体、高齢者には紙媒体というように、受け手の属性に応じた情報発信が必要である。 ・郡山を活気つけて全国に発信できるイベントを開催してはどうか。等</p>		
各基本目標のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2020)	実績値 (2021)	目標値 (2024)	傾向
1	社会移動率 ※2040年までに子育て世代（0歳から74歳）の社会移動率を段階的に改善	-	調査中	調査中	調査中	最大約4ポイント改善 (2040)	調査中
2	交流人口（観光客入込客数）	約362万人/年	約493万人/年	約200万人/年	調査中	500万人/年	↓

施策1：地域資源ブランド化による海外も含めた観光誘客と情報発信

個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2020)	実績値 (2021)	目標値 (2024)	傾向
1	こおりやまファンクラブ加入者数	1,214人	1,487人 (2018)	1,597人	1,636人	2,000人	↓
2	コンベンション開催件数	850件/年	877件/年 (2018)	374件/年	調査中	900件/年	↓

【KPIに関連する事業の取組み状況、成果、課題等】
 ■ こおりやまファンクラブにおいて、協賛店舗による優待サービスの提供、メールマガジンの定期配信、転出者に対する周知、会員による市外での周知活動の依頼（入会時）を実施。
 過去5年間の平均加入者数が72人/年、新型コロナウイルス感染症拡大以降の減少傾向は如実であり、現状維持では目標値（2024）を達成することは困難な状況である。
 ⇒【課題】新型コロナウイルス感染症の影響により、市外におけるプロモーション活動機会が減少していること。
 こおりやまファンクラブが開始されてから10年が経過していることから、交流人口（観光客入込客数）の増加を目指す上での手段として当該ファンクラブの運営の有効性を分析するとともに、他の手段に置き換えることも含めて検討する必要がある。
 ■ 新型コロナウイルス感染症の影響により、コンベンション開催件数が減少している。また、開催形態に関しては、リアル開催が減少しており、オンライン及びオンラインを併用したハイブリッド型でのコンベンション開催が増加している。
 ⇒【課題】コロナ禍においても安心・安全にコンベンションが開催できる環境の整備及び主催者向けのPRを積極的に行っていく必要がある。
 ■ 新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客数及び外国人宿泊者数も減少している。
 観光需要が回復した際に、国内・国外から旅行先に選ばれるために、地域ならではの特色を活かした観光コンテンツの造が必要である。
 ⇒【課題】渡航制限による訪日外国人の減少、特色ある観光コンテンツの不足

【参考】観光誘客事業

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向
観光客数(人)	約493万	約200万人	約198万 (見込み)	500万	↓

【参考】インバウンド観光推進事業

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向
外国人宿泊者数(人)	13,356	3,694	調査中	8,000	↗

施策2：地域の特色ある歴史、音楽などの文化振興とスポーツ環境の充実

個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2020)	実績値 (2021)	目標値 (2024)	傾向
1	市民音楽祭参加団体数	207団体	205団体 (2018)	70団体	50団体	245団体	↓
2	「開成館」、「歴史資料館」における観光入込客数	13,765人	14,779人 (2018)	8,695人	2,942人	16,300人	↓
3	2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業件数	5件	39件	33件	24件	-	-
4	市内プロスポーツ試合観戦来場者数	40,911人	40,710人	15,475人	18,334人	48,000人	↓
5	市民一人当たりのスポーツ施設利用回数	3.4回/年	3.5回/年	1.7回/年	1.7回/年	4.0回/年	↓

【KPIに関連する事業の取組み状況、成果、課題等】
 ■ 新型コロナウイルス感染症の影響による音楽イベント中止や活動自粛のため、参加団体数が減少した。
 ⇒【課題】SNS活用などツイズ・ポストコロナ時代に沿った事業展開が必要である。
 ■ 新型コロナウイルス感染症の影響や、福島県沖地震の被害により「開成館」が令和3年2月14日から閉館しているため、減少した。
 ⇒【課題】「開成館」の早期の災害復旧を図り、入場者数の増加に繋がる魅力ある日本遺産関連施設の情報発信等が必要である。
 ■ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が終了し、機運を醸成するための事業やイベントが減少した。
 ⇒【課題】東京2020大会のレガシーを継承するための、新たな取り組みが必要である。
 ■ 新型コロナウイルス感染症の影響により、公式戦の減少や観客数の上限設定などがあり、来場者を増加させることが困難である。
 ⇒【課題】来場者数増加に繋げるための、他のPR方法等が必要である。
 ■ 新型コロナウイルス感染症の影響から、スポーツ施設利用者が減少した。
 ⇒【課題】市民が安心して施設を利用できるように感染症対策を図りながら事業を展開する必要がある。

【参考】郡山シティーマラソン大会開催事業

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向
大会参加者数	7,648人	0	0	7,000人	↓

施策3：地方への人の流れをつくり、地方を訪れ住み続けるための移住・定住環境の整備と「関係人口」の創出


個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2020)	実績値 (2021)	目標値 (2024)	傾向
1	創業・起業家数【再掲】	54件/年	50件/年 (2018)	41件/年	50件/年	50件/年	→
2	農業・農村体験イベント参加者数	252人	398人	373人	552人 (12月現在)	600人	↗
3	農家民宿宿泊者数	158人	70人	0人	0人	100人	↓
4	市内大学・短大・専門学校の学生数	10,799人	10,796人 (2018)	10,649人	10,299人	維持 (2014の10,799人)	→

【KPIに関連する事業の取組み状況、成果、課題等】
 ■ 農業・農村体験イベント参加者数は、「ふれあい体験農園」、「まるごと農業体験」、「ふるさと田舎体験事業」の実施により参加者数の増加が図られた。
 ■ 農家民宿宿泊者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により農家民宿の営業を休止中。
 ⇒【課題】農家民宿の宿泊者数が新型コロナウイルス感染症の収束後に回復できるか先行きが不透明。
 ■ ホストタウン相手国であるオランダ・ハンガリー、また、姉妹都市を締結して50周年となる奈良市や、2020年より和紙を通じた交流を始めた鳥取市と、オンラインを活用した交流機会等を創出し、コロナ禍でも交流を精力的に行い、交流人口が大幅に増加した。
 ⇒【課題】オリンピックが終了し、今回の交流をレガシーとして継承していくための新たな事業創出が必要である。

【参考】ホストタウン・都市間等交流推進事業

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向
姉妹都市等との交流人口	2,310	2,299	26,315	650	↗

基本目標3：切れ目無い子育て支援と女性・子育て世代の活躍推進

<p>【各基本目標のKPIの傾向】 ■合計特殊出生率は、全国的な少子化傾向や新型コロナウイルス感染症の影響等により大きく減少していることから、さらなる各施策の推進の必要がある。</p> <p>【各施策の総合評価】 ■保育環境への満足度や学力向上の成果など着実な進展が図られている。</p>		<p>SDGsのゴール</p> 			<p><まちづくりネットモニターでの主な意見> ・郡山市は教育環境、医療機関の充実も含めて子育てのしやすいまちだと感じる。 ・出産・育児で仕事を離れた母親の再就職に対するさらなる支援があるとよい。 ・子育てと仕事が両立できるよう公立保育園の充実が必要である。等</p>		
各基本目標のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2020)	実績値 (2021)	目標値 (2024)	傾向
1	合計特殊出生率 ※2040年までに合計特殊出生率を段階的に改善	1.49	1.47 (2018)	1.38 (2020)	1.38 (2020)	1.48	↘
2	出生数	2,694人/年	2,510人/年 (2018)	2,322人/年 (2019)	2,322人/年 (2019)	3,000人/年	↘

施策1：結婚～妊娠～出産～子育ての切れ目ない支援

個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2020)	実績値 (2021)	目標値 (2024)	傾向
1	待機児童数(認可保育所等) (4月時点)	-	20人	22人	0人	0人	↗
2	「認可保育施設」の満足度	(2020改訂にあたり新設)	-	92.4%	92.6%	100%	→
3	市民意見レーダーにおける「子育て」の満足度	58.4点	72.5点	74.9点	74.8点	74.0点	↗

【KPIに関連する事業の取組み状況、成果、課題等】
 ■期間中に於いて、44施設(定員2,415人分)を整備し、2021年4月時点で、認可保育所等の国基準待機児童0人を達成したが、年度中に累積する待機児童の解消には至っていない。未就学児の人口は減少傾向にあるが、引き続き幼稚園の認定こども園への移行、認可外保育施設の認可保育施設への移行を推進し、保育ニーズの高まりに対応する必要がある。
 ■保護者アンケートにおける満足度の点数は、現在92.6%と高い水準にあるが、引き続き保育の質の向上や、医療的ケア児童など、保育ニーズの多様化への対応に取り組む必要がある。

【参考】地域子育て支援センター事業

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向
子育て支援センター事業利用者数	43,624人(2018)	48,138人(2019)	28,942人(2020)	30,000人	↗

【参考】妊産婦健康診査事業

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向
妊産婦健康診査者数	28,349人	28,921人	18,479人	26,400人	↗

施策2：子どもたちが健やかに成長できる地域づくり

個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2020)	実績値 (2021)	目標値 (2024)	傾向
1	体力・運動能力調査の全国との比較割合 (調査対象：小学校5年生(義務教育学校5年生)、 中学校2年生(義務教育学校8年生))	小学校5年生：37.5% 中学校2年生：12.5%	小・義5年生：25.00%(2018) 中2・義8年生：56.25%(2018)	コロナ禍のため中止	小・義5年生：43.75% 中2・義8年生：75.00%	小・義5年生：62.5% 中2・義8年生：62.5%	↗
2	育児家庭訪問実施数	82件	68件(2018)	57件	27件	100件	↘
3	3歳児健診虫歯有病者率	25.40%	17.22%(2018)	15.52%(2019)	15.70%(2020)	15.00%	↗

【KPIに関連する事業の取組み状況、成果、課題等】
 ■新型コロナウイルス感染症の影響から20年度の全国・体力運動能力調査は中止であった。21年度は市の値としては19年度を下回る種目が多かったが、コロナ禍の影響により全国的に運動機会が減少したことにより全国平均値が低下したため、結果として全国平均値を超える種目数が増えた。コロナ禍においても、感染症対策を講じながら学びを止めなかったことが影響している。
 ⇒【課題】長座体前屈(柔軟性)がすべての学年男女で全国平均よりも低い。体育・保健体育の授業や部活動等において、ストレッチの大切さに触れ、ストレッチの方法について教えていく必要がある。

■育児家庭訪問実施数は減少傾向にあったが、2020年度は新型コロナウイルスの影響による世帯収入の減少等により、食事、衣服、生活環境等に関して不適切な状態にある世帯が増加したと見られ、実施件数は増加した。
 ■子どもの遊び場(カルチャーパーク屋内子どもの遊び場、大槻公園子どもの遊び場、八山田こども公園)の運営を通して、子どもたちが元気に運動できる環境の充実を図った。

【参考】子どもの遊び場

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向
子どもの遊び場利用者	140,649人(2018)	149,016人(2019)	75,386人(2020)	80,000人	↗

【参考】保育所地域ふれあい事業

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向
保育所地域活動事業参加者数	23,742	8,438	10,000	20,000	↗

施策3：全ての人が働きやすくなる働き方改革の実現

個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2020)	実績値 (2021)	目標値 (2024)	傾向
1	審議会・委員会等の女性委員登用率	29.7%	28.1%	28.5%	28.7%	40.0%	→
2	ファミリーサポートセンター活動件数	2,829件	3,189件(2018)	2,186件(2019)	1,842(2020)	3,300件	↘
3	育パパサポート奨励金支給人数	-	5人	7人	7人	10人	→

【KPIに関連する事業の取組み状況、成果、課題等】
 ■国の「働き方改革」の推進に向けた法令改正や各種施策により、本市の育パパサポート奨励事業の実績は増加傾向を示している。
 ■女性委員の登用促進に向けた働きかけを行っているものの、目標値に達していない状況である。
 ■「こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議」や男女共同参画に係る講座等をととして、ワークライフバランスの推進や女性活躍への意識改革を図った。
 ⇒【課題】令和2(2020)年度「雇用均等基本調査」によると、男性の育児休業取得率は12.65%と前年度比で5.17%の上昇となったものの、平成26(2014)年度の2.30%と比較すると、6年間で10.35%の上昇であり、国が掲げる令和7(2025)年度目標値30%の達成は非常に厳しい状況にあるため、本事業の継続は勿論のこと、過重労働の抑制や各種休暇制度の充実と取得促進する「働き方改革」とDXを活用したテレワーク等の多様な働き方の推進による「ワークフォアライフ」について、さらなる周知・啓発を図る必要がある。
 「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」や「女性活躍推進法」に基づき、意思決定過程への女性の参画促進に向けた意識啓発等を行う必要がある。
 構築したネットワークの活性化や新たな事業展開等により、さらなる女性活躍推進を目指す必要がある。

■ファミリーサポートセンター活動件数について、件数は年々減少しているものの、ニーズは一定程度あり、働く親の仕事と育児の両立を支援した。
 ⇒【課題】サポートを行う「まかせて会員」が少ないことから、当該会員の募集を強化する必要がある。


【参考】一時的保育事業

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向
一時保育の利用人数(のべ)	14,579	11,800	11,272	26,000	↘

【参考】女性活躍推進事業

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向
こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議参加団体	39	47	52	52	↗

基本目標4：住民・企業が集う気候変動対応型まちづくりの推進

<p>【各基本目標のKPIの傾向】 ■セーフコミュニティ認証取得（2017）後、継続した活動を実施している。 ■こおりやま広域圏形成後、圏域の強みを生かした事業展開を図ってきた。</p> <p>【各施策の総合評価】 ■犯罪件数の減少や公共施設管理の民営化など着実な進展が図られている。</p>		<p>SDGsのゴール</p> 			<p><まちづくりネットモニターでの主な意見> ・地域の防災についての取組みは着実に進んでいると感じる。 ・高齢者が住みやすいまちとなるよう、公共交通機関のさらなる充実と運賃の低価格化が必要。 ・近ごろテレビなどでSDGsについて聞く機会があり、早くからSDGsに取り組んできたのは良いと思う。等</p>		
各基本目標のKPI	説明	初期値（2014）	策定前実績値（2019）	実績値（2020）	実績値（2021）	目標値（2024）	傾向
1	セーフコミュニティ認証取得及び活動の継続	-	認証取得（2017）及び活動の継続	認証取得（2017）及び活動の継続	認証取得（2017）及び活動の継続	再認証取得（2022）及び活動の継続	→
2	こおりやま広域圏における人口（郡山市を含む16市町村）	約60.8万人 (2010国勢調査) (15市町村)	約65万人 (2015国勢調査) (16市町村)	約65万人 (2015国勢調査) (16市町村)	約65万人 (2015国勢調査) (16市町村)	61.4万人 (2025)	→

施策1：災害、事故・犯罪のない安全・安心なまちづくり

個別施策のKPI	説明	初期値（2014）	策定前実績値（2019）	実績値（2020）	実績値（2021）	目標値（2024）	傾向																								
1	温室効果ガス排出量 ※「郡山市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」改定中のため、目標値は暫定値	(2020改訂にあたり新設)	2,961千t-CO2 (2016)	2,861千t-CO2 (2018)	2,861千t-CO2 (2018)	2,538千t-CO2 (2020)	→																								
2	リサイクル率（市全体）	(2020改訂にあたり新設)	16.11% (2018)	10.7% (2019)	10.9% (2020)	22%	↓																								
3	消防団員数	2,530人	2,416人	2,338人	2,204人	2,361人	↗																								
4	市内交通事故死亡者数	11人	9人	9人	7人(12/28現在)	3人以下	→																								
5	犯罪発生件数	3,341件	2,118件	1,566件	(1月中に公表予定)	2,200人	↗																								
<p>【KPIに関連する事業の取組み状況、成果、課題等】 温室効果ガス排出量 ■近年の環境や省エネに対する意識の向上等により、市内の温室効果ガス排出量は減少傾向にある。 ⇒【課題】市内の温室効果ガス排出量は減少傾向にあるが、2021年3月策定「郡山市気候変動対策総合戦略」において、より高い目標を掲げており、今後、更なる対策の強化が必須の状況にある。特に、運輸部門（自動車）における排出量は増加傾向にあることから、次世代自動車の導入推進等、より具体的な施策・対策が必要である。</p> リサイクル率（市全体） ■集団資源回収量は減少したものの、行政による資源物の回収量が前年度より増加したため、リサイクル率は前年度より増加した。 ⇒【課題】今後もさらなる分別の徹底を周知し計画値達成に取り組んでいく必要がある。		<p>【参考】町内会活動促進事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2020)</th> <th>実績値(2021)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> </tr> <tr> <td>町内会加入世帯数</td> <td>89,514</td> <td>88,302</td> <td>88,355</td> <td>101,500</td> <td>↓</td> </tr> </table> <p>【参考】自主防災組織活動支援事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2020)</th> <th>実績値(2021)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> </tr> <tr> <td>自主防災組織での防災訓練実施回数</td> <td>42</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>42</td> <td>→</td> </tr> </table>						主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向	町内会加入世帯数	89,514	88,302	88,355	101,500	↓	主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向	自主防災組織での防災訓練実施回数	42	2	1	42	→
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向																										
町内会加入世帯数	89,514	88,302	88,355	101,500	↓																										
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向																										
自主防災組織での防災訓練実施回数	42	2	1	42	→																										


施策2：新たな技術を活用した持続可能な公共・社会基盤の構築

個別施策のKPI	説明	初期値（2014）	策定前実績値（2019）	実績値（2020）	実績値（2021）	目標値（2024）	傾向																										
1	公共施設延床面積縮減率	-	0.1%(2018)	1.1%(2019)	1.6%(2020：見込み)	4.5%(2025)	→																										
2	民間提案を生かしたPPPによる施設の管理運営数 (公募による指定管理者制度導入施設)	48施設	62施設	66施設	66施設	67施設	↗																										
<p>【KPIに関連する事業の取組み状況、成果、課題等】 ■PPPによる効果的・効率的な管理運営の「指定管理者制度導入計画」を策定し、計画的な検討及び導入を図ってきたことにより、順調に導入施設が増加し、目標値（2024）を達成する見込みである。 今後も「こおりやまエアプラットフォーム」等を活用しながら、幅広く民間事業者のPPP参入意向を把握し、民間活力の活用による施設の管理運営を推進していく。</p>		<p>【参考】新公会計制度・複式簿記制度導入事業</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2020)</th> <th>実績値(2021)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">財務諸表作成</td> <td>会計別財務諸表</td> <td>30会計</td> <td>30会計</td> <td>30会計</td> <td>26会計</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>歳出目別（個別）財務諸表</td> <td>101目</td> <td>101</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>事業別財務諸表</td> <td>87事業</td> <td>87</td> <td>89</td> <td>89</td> <td>↗</td> </tr> </table> <p>※このほか、2016年度決算より参考として4企業会計についても会計別財務諸表を作成</p>						主な成果指標		実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向	財務諸表作成	会計別財務諸表	30会計	30会計	30会計	26会計	→	歳出目別（個別）財務諸表	101目	101	100	100	↗	事業別財務諸表	87事業	87	89	89	↗
主な成果指標		実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向																											
財務諸表作成	会計別財務諸表	30会計	30会計	30会計	26会計	→																											
	歳出目別（個別）財務諸表	101目	101	100	100	↗																											
	事業別財務諸表	87事業	87	89	89	↗																											

施策3：地域連携により暮らし続けられる都市圏の形成

個別施策のKPI	説明	初期値（2014）	策定前実績値（2019）	実績値（2020）	実績値（2021）	目標値（2024）	傾向
1	連携中枢都市圏ビジョンにおいて設定する基本目標の向上項目数	(2020改訂にあたり新設)	-	2項目	2項目 (2020)	11項目	→
<p>【KPIに関連する事業の取組み状況、成果、課題等】 ■16市町村で構成する連携推進協議会において、圏域の強みを生かした連携事業を実施してきた。 ⇒【課題】今後は中長期的な視点に立ち、圏域の強みを生かしたさらなる事業展開を図るとともに、施策間・地域間・主体間連携（公民連携）の促進を図る必要がある。</p>							

基本目標5：あらゆる世代が居場所と役割を持ち生きいきと暮らせるまちづくり

<p>【各基本目標のKPIの傾向】</p> <p>■元気高齢者数については、高齢化の進展で高齢者数そのものが増加しているため、それに比例し増加している。率にすると、2014年度が82.7%、2018年度82.0%、2019年度81.8%、2020年度81.6%と、大きく変動はしていないが低下傾向にある。(元気高齢者以外の方の寿命も延びていることが要因)</p> <p>【各施策の総合評価】</p> <p>■コロナ禍における外出活動の低下が原因と思われる指標の低下傾向が見られるが、健康意識の高まりなど着実な進展が図られている。</p>	<p>SDGsのゴール</p> 			<p><まちづくりネットモニターでの主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域、世代を越えた交流の場があるといいと思う。 ・特別支援が必要な子どもの教育環境や障がい者が活躍できる企業などのさらなる充実が必要。 ・コロナ禍もあり高齢者の生活環境が悪くなっていると感じるため、活躍の場、社会参加の場など高齢者が生きがいの持てる環境づくりをしてほしい。等 				
	各基本目標のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2020)	実績値 (2021)	目標値 (2024)	傾向
1	元気高齢者数 (65歳以上の高齢者のうち要介護認定を受けていない者の数)	介護保険制度における要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者の数	62,947人	68,323人(2018)	69,212人(2019)	70,052人(2020)	72,000人	↗
2	特定健康診査の受診率 (郡山市国民健康保険被保険者)	市国民健康保険に加入している40歳から75歳未満の方の特定健康診査受診率	32.30%	38.2%(2018)	34.80%	26.75% (11/27現在速報値)	60.0%(2023)	↘

施策1：高齢者が健康で活躍し続けられるまちづくり

個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2020)	実績値 (2021)	目標値 (2024)	傾向
1	高齢者健康長寿サポート事業により増加した高齢者の外出数	延べ65,679回 (2015.4-10)	延べ231,192回(2018)	延べ15,128回 (2019)	延べ113,864回 (2020)	延べ270,000回	↘
2	緊急通報システム 新規申請件数	(2020改訂にあたり新設)	187件	191件	200件 (3月見込)	251件	→

【KPIに関連する事業の取組み状況、成果、課題等】

■ ゲートボール大会は新型コロナウイルス感染防止措置により中止となった。高齢者スポーツ大会は新型コロナウイルス感染防止に留意し、かつ高齢者のADL維持または向上及び孤立を防ぐため例年屋内で行ってきた高齢者スポーツ大会を屋外へ移し、競技も屋外スポーツに変更した。結果、昨年と比べ参加者人数が増え、感染防止を行ったことで、大会での感染は見られなかった。

⇒【課題】屋外スポーツの中で高齢者が安心して行える競技の選定。屋内で行う場合の参加者、観客、スタッフの人数制限。体温測定時や待機中の密状態。といった新型コロナに関連する課題があるため、状況に応じた対応が必要である。

■ 緊急通報システム事業においては、緊急通報装置の設置や定期的な安全確認等により、緊急事態に迅速に対応できている。また、孤独死を防止している。

⇒【課題】緊急通報の設置要件（協力員、家庭状況）や緊急通報の方法について様々な要望が出てきており、対応について検討が必要。

【参考】高齢者の生きがいと健康づくり事業

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向
スポーツ大会参加者数	822人	55人	160人	800人	↘

【参考】いきいきデイクラブ事業

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向
延べ利用者数	6,054人	2,452人	2,452人 (3月見込)	7,085人	↘

施策2：住民や多様な主体が支え合える優しい地域づくり

個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2020)	実績値 (2021)	目標値 (2024)	傾向
1	認知症サポーター養成者数 (累計)	8,422人	32,634人	34,198人	35,481人 (12月末)	55,000人	→
2	郡山市認知症高齢者SOS見守りネットワーク連絡会加盟団体数	57団体(2015)	111団体	114団体	115団体(12月末)	140団体	→

【KPIに関連する事業の取組み状況、成果、課題等】

■ 認知症サポーター養成事業については、オンライン形式での開催等により昨年度より開催数および養成者数が増加している。また、認知症高齢者SOS見守りネットワークにおいては、認知症の理解促進により、加盟団体が微増し、行方不明発生時等見守り体制の協力が得られている。

⇒【課題】働き世代を中心とした認知症の周知啓発を図るため、認知症高齢者SOS見守りネットワーク連絡会加盟団体を中心に認知症サポーター養成講座の開催を促していく必要がある。また、認知症高齢者等の見守りを強化するため、民間企業等の加盟を促し、かつ加盟団体との連携強化に努める必要がある。

■ 障がい者スポーツ教室参加者数は、新型コロナウイルス感染症に伴う休館等の影響により減少した。

⇒【課題】「新しい生活様式」を取り入れながら、安心・安全な運営を図るほか、事業の更なるPRが必要である。

【参考】障がい者の社会参加及び障がい者理解促進事業

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向
障がい者スポーツ教室参加人数	303	246	221	300	→

【参考】一般介護予防事業

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向
住民主体の通いの場活動箇所数	115箇所	121箇所	132箇所(12月末)	170箇所	→

施策3：あらゆる住民・世帯が安心して健康に暮らせる社会の構築

個別施策のKPI	説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2020)	実績値 (2021)	目標値 (2024)	傾向
1	「空気のきれいな施設」認証施設数	(2020改訂にあたり新設)	825施設	850施設	866施設	940施設	→
2	食育に関する市民の認知度	95%	75.8%	95.70%	97.30%	100%	↗
3	医療相談件数	347件/年	442件/年 (2018)	479件/年	400件/年 (見込み)	250件/年	→

【KPIに関連する事業の取組み状況、成果、課題等】

■ 市民の健康づくりの推進に向け、受動喫煙防止対策及び食育の推進等を行った。

⇒【課題】今後も民間企業などとの連携を推進し、健康寿命の延伸に取り組む必要がある。

■ 障がい者とその家族から地域生活に関する相談や障がい福祉サービスの相談を受けた。

⇒【課題】相談件数が増加傾向にあり、相談業務を委託している事業者と市が連携しながら引き続き事業を実施する必要がある。


【参考】救急医療体制確保事業

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向
休日・夜間救急センター受診者数	13,473人	3,960人	-	13,000人	→

【参考】障がい者相談支援事業

主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向
障がい者相談件数	23,138件	26,183件	25,638件	21,000件	↘

基本目標6：教育の質の向上と誰もが楽しく学べる環境づくり

<p>【各基本目標のKPIの傾向】 ■公民館利用については、新型コロナウイルス感染症流行により公民館利用者数は減少しているが、昨年度に対し今年度の利用者が増加していることから当該ウィルス流行が収まることによる回復が見込まれる。利用者の固定化・高齢化が課題となっている。 ■図書館においては、新型コロナウイルス感染症の影響や、令和3年2月13日に発生した福島県沖地震により中央図書館が被災したために長期休館中であることから、図書貸出冊数に落ち込みが見られる。中央図書館再開後は、新しい生活様式に対応した取り組みを進めていく必要がある。</p> <p>【各施策の総合評価】 ■指標の低下傾向が見られ、コロナ禍における公民館や図書館など公共施設利用の低下が原因と思われる。</p>		<p>SDGsのゴール</p> 			<p><まちづくりネットモニターでの主な意見> ・学力向上にさらに力を入れることで、地元での進学、就職が増加すると思う。 ・教育の多様性、内容を充実させることで、若い人が子どもの教育に魅力を感じるまちにしてほしい。 ・公民館で開催している社会教育、生涯学習に関する講座等をオンライン化してほしい。等</p>			
各基本目標のKPI		説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2020)	実績値 (2021)	目標値 (2024)	傾向
1	市民意見リーダーにおける「生涯学習」の満足度	市民意見リーダーにおいて「生涯学習」に対し満足と回答した人の割合	64.2点	70.6点	72.1点	69.4点	72.0点	↘

施策1：AI等も活用した先進的な教育による質の向上

個別施策のKPI		説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2020)	実績値 (2021)	目標値 (2024)	傾向												
1	教育用パソコン・タブレット端末等1台当たりの児童生徒数	小中学校における教育用パソコン・タブレット端末等1台当たりの児童生徒数	7.6人/台	3.4人/台	1.0人/台	1.0人/台	1人/台	↗												
2	教職員1人当たりの研修講座参加回数	教職員の研修講座参加者数	(2020改訂にあたり新設)	3.8回	2.6回	3.9回	2.5回	→												
<p>■ GIGAスクール構想の実現に向け、令和2年度には児童生徒に1人1台端末を整備することができた。 ⇒【課題】 教員のICT活用指導力の向上を図るとともに、今後の端末の整備・更新に関する国の動向を注視していく必要がある。 ■ 学習指導要領が完全実施となり教職員の研修へのニーズが高まったとともに、オンライン研修の手軽さもあり、一人当たりの研修参加回数が増えた。 ⇒【課題】 令和4年度に教員免許制度が廃止される予定であるため、教職員研修を充実していく必要がある。</p>			<p>【参考】心のハーモニー学校音楽振興事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2020)</th> <th>実績値(2021)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> </tr> <tr> <td>合唱・合奏交流事業等参加者数</td> <td>2,287人</td> <td>コロナで未実施</td> <td>1,161人</td> <td>2,000人</td> <td>↗</td> </tr> </table>						主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向	合唱・合奏交流事業等参加者数	2,287人	コロナで未実施	1,161人	2,000人	↗
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向															
合唱・合奏交流事業等参加者数	2,287人	コロナで未実施	1,161人	2,000人	↗															

施策2：世界的視野で活躍できるグローバルな人材の育成

個別施策のKPI		説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2020)	実績値 (2021)	目標値 (2024)	傾向												
1	民俗芸能記録保存団体数	地域で伝承されている無形文化財の上演状況等を映像記録保存した数	6団体	8団体(2018)	8団体(コロナ対策のため延期)	9団体	11団体	→												
<p>【KPIに関連する事業の取組み状況、成果、課題等】 ■ 指定無形民俗文化財の継承の一助とするため、計画的に映像記録を作成している。 ⇒【課題】 おおみやま広域圏への更なる広報活動に努める必要がある。 ■ コロナ禍で、英語検定などの外部試験の受験を控える生徒が多かったため、CEFR A1レベル以上を取得している生徒の数が減少している。 ⇒【課題】 英語の4領域・5技能の育成に努めるとともに、CEFR A1レベル以上を取得できる生徒の数を増やしていく必要がある。</p>			<p>【参考】小中学校英語教育推進事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2020)</th> <th>実績値(2021)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> </tr> <tr> <td>中学校卒業段階における英検3級以上取得者の率</td> <td>46.1%</td> <td>コロナで未実施</td> <td>39.3%</td> <td>50.0%</td> <td>↘</td> </tr> </table>						主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向	中学校卒業段階における英検3級以上取得者の率	46.1%	コロナで未実施	39.3%	50.0%	↘
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向															
中学校卒業段階における英検3級以上取得者の率	46.1%	コロナで未実施	39.3%	50.0%	↘															

施策3：誰もが学ぶことができる学習機会の確保・充実

個別施策のKPI		説明	初期値 (2014)	策定前実績値 (2019)	実績値 (2020)	実績値 (2021)	目標値 (2024)	傾向												
1	公民館利用者数	市内公民館の利用者数	約111万人	約123万人(2018)	約58万人(2020)	約84万人(主催含まれてません)	123.5万人(2023)	↘												
2	あさかの学園大学学生数	高齢者大学「あさかの学園大学」学生数	466人	492人	506人	494人	660人	→												
3	市民一人当たりの図書貸出冊数	市立図書館における図書の年間総貸出冊数/人口	3.4冊	3.7冊	2.9冊	2.8冊	4.0冊	↘												
<p>【KPIに関連する事業の取組み状況、成果、課題等】 ■ 広報誌等に加えTV媒体での広報活動を行った。 ⇒【課題】 おおみやま広域圏への更なる広報活動に努める必要がある。 ■ 新型コロナウイルス感染症流行により公民館利用者数は減少しているが、昨年度に対し今年度の利用者が増加していることから当該ウィルス流行が収まることによる回復が見込まれる。利用者の固定化・高齢化が課題となっていることから、若年層の利用促進を図る必要がある。地区地域公民館での講座の開催、保護者等の家庭教育に関する学習等、多様な学習機会や情報を提供し、子どもから高齢者まで市民の自主的な学習活動を支援した。また、生涯学習を支える指導者の登録等を行うことにより地域で活躍する人材の確保と育成を図った。 ⇒【課題】 利用者の固定化・高齢化が課題 ■ 図書館においては、新型コロナウイルス感染症の影響や、令和3年2月13日に発生した福島県沖地震により中央図書館が被災したために長期休館中であることから、図書貸出冊数に落ち込みが見られた。 ⇒【課題】 2019年度より導入した電子図書館等の図書館サービスのデジタル化を進めることなどにより、来館不要でいつでも利用できる新しい生活様式に対応した図書館サービスを積極的に進めていく必要がある。</p>			<p>【参考】生涯学習支援事業</p> <table border="1"> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>実績値(2019)</th> <th>実績値(2020)</th> <th>実績値(2021)</th> <th>目標値(2024)</th> <th>傾向</th> </tr> <tr> <td>市政きらめき出前講座受講者数</td> <td>15,417</td> <td>7,997</td> <td>12,000</td> <td>12,000</td> <td>↗</td> </tr> </table>						主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向	市政きらめき出前講座受講者数	15,417	7,997	12,000	12,000	↗
主な成果指標	実績値(2019)	実績値(2020)	実績値(2021)	目標値(2024)	傾向															
市政きらめき出前講座受講者数	15,417	7,997	12,000	12,000	↗															